

凡事徹底 野間中だより

平成27年8月 3日
第214号
野間中学校



大健闘！野間中生！

知多地方体育大会（郡大会）結果

台風の影響もあり、一部種目で順延があった今年の知多地方体育大会。昨年度は健闘むなしく県大会出場はかなわず捲土重来を期した今年度の大会でしたが、野間中生が大健闘を見せてくれました。

剣道部 男子団体 準優勝（県大会出場へ）

柔道 男子個人50kg以下級
準優勝 2年 鈴木悠大（県大会出場へ）

ハンドボール 準優勝

卓球部 女子団体 準優勝



＜その他の種目の結果＞

卓球男子 団体予選通過→決勝トーナメント1回戦惜敗
バレーボール 1回戦 青山2-0野間
サッカー 1回戦 富貴①-1野間（PK戦）
剣道女子団体 予選惜敗
テニス男子 1回戦 北部中に惜敗
テニス女子 1回戦 阿久比中に惜敗
野球 準々決勝 武豊8-1野間



今年度の知多地方体育大会は天候不順もあり体調管理が非常に難しい環境でした。その中で団体3種目で準優勝を勝ち取り、また個人でも準優勝を勝ち取り、2種目が県大会出場という頑張りを見せてくれました。ハンドボールと卓球は準優勝でしたが今年度の県大会出場枠は「1校」となっており県大会出場はなりませんでした。

郡大会を終えて 剣道部男子団体 大将 小野 正晃

「郡大会、この大会を勝ち抜き、県大会に出場する」、これが僕たち剣道部の目標でした。そして、いよいよ始まった郡大会。どの学校も目標にむかってまさに必死の戦いでした。僕は「大将」という役割を任せられました。正直大将決戦になったら・・・と思うと緊張しました。しかし、副将の水野君が確実に勝ち大将の僕につないでくれたので安心して試合をすることができました。

そして、決勝ラウンドにあがれるかどうかの大一番大府中戦を迎えました。副将戦が終わり大将の僕が「二本勝ち」してやっと代表戦に持ち込めるという苦しい展開となりました。「一本勝ちではだめ、絶対二本とるぞ」と心に決め戦い、二本勝ちすることができました。そして代表戦。野間中の代表は僕でした。試合が始まり、剣道独特の「気」「間」が包み込む中、今まで一番練習してきた「小手」が無意識にでて勝ちました。この小手は一緒に練習してきた仲間が打たせてくれたと思いました。優勝はできなりましたが、野間中で剣道を稽古してきた本当に良かったと心から思った大会でした。



平成27年度美浜町社会を明るくする運動推進大会

少年の主張 奥村 明日香さん

今年の美浜町社会を明るくする推進運動大会にて町内より2名の中学生の「少年の主張」が行われました。本校から代表に選ばれた3年奥村明日香さんが「リーダー活動」について立派な発表をしてくれました。

今後も学校のリーダーとして、ますますの活躍を期待しています。



表彰の記録（敬称略・順不同）

第15回全国毎日パソコン入力コンクール

和文入力の部	第1位	千賀 捺月	第2位	久網 陽平	第4位	松本 百加
英文Aの部	第2位	久網 陽平	第3位	田村有梨沙		
ホーム・パソコンの部	第2位	田村有梨沙				
数字・記号の部	第5位	神谷 健介				



編集部より

野間中だよりご愛読いただきありがとうございます。編集部に届いた2通のお手紙を紹介します。



毎月回覧板で回ってくる野間中だよりをいつも楽しみにして読ませてもらっています。先日、自家用車で出かけようと家をでました。交差点にさしかかり、私はいったん車を止めました。同じように交差点には列になった自転車通学の野間中生の生徒さんが交差点にさしかかったのです。そのとき、先頭の生徒さんは「お先にどうぞ」と笑顔と手振りで示してくれました。きっと、自転車の列がながく車を待たせてしまうと思い、車の私を先に行かせてくれたのだと思います。実はこの生徒さんには以前何度も道をゆずってもらったことがあり、そのたび感謝の気持ちでいっぱいでした。また、自転車通学の生徒さん、徒歩の生徒さんともすれ違うときには元気な声であいさつを必ずしてくれます。わたしも野間中を卒業してかなり年数はたってしまいましたが、親切で、元気が良く、あいさつがしっかりできる後輩のみなさんの姿がとても頼もしく、そしてうれしく思います。これからも野間中のみなさんの活躍を期待しています。

こんにちは、突然のメールですみません。私どもの会社では、「あいさつ」を重視しています。お客さん、お得意さんへはもちろん、同僚、道ですれ違う人にも、明るく元気よくあいさつをしようと呼びかけています。私は毎朝歩いて通勤しています。私自身、通勤途中にすれ違う人に、知っている人に限らず、知らない人にもあいさつをするよう心がけています。会社にむかって歩いていると、今から朝部活というたくさんの中学生のみなさんとすれ違います。すれ違うときに私が「おはようございます」というと、必ず野間中の生徒さんはいつも元気よくあいさつを返してくれます。また、私を見て、私より先に「おはようございます」とあいさつしてくれる生徒さんもたくさんいます。野間中のみなさん、ぜひ大人になってもあいさつができる人になってください。なぜなら、大人になってもあいさつができる人は、やっぱり仕事もできます。仕事ができてもあいさつができない人のところには仕事はやってきません。眠くて機嫌が悪い朝もあると思います。いやなことがあって心が沈んでしまう朝もあるかもしれません。そんなときこそ、元気よくみんなにあいさつしてみませんか。きっと何かが変わると私は信じています。「家庭に、地域に、みんなにあいさつ」ぜひ続けてください。



お手紙ありがとうございました。また、野間中生の「あいさつ」をほめていただきありがとうございます。おほめのお手紙以外にも、先日学校の職員室へわざわざ寄っていただいた方がみえて、「朝も夕方もいつもあいさつをしてくれず。とてもうれしくてお礼を言おうと寄りました」とおっしゃっていただきました。その反面、「自転車が2列になって危険、今ぶつかりそうになった」「奥田の中道を自転車で走っていく中学生がいる、出会い頭にぶつかるころだった」「中学生が道いっぱいに広がって歩いていて通行の妨げになった」というお電話やお話を頂戴します。「あいさつ」も励行しながら交通安全や交通マナーについてもさらなる課題として考えていこうと思います。

「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp